

初台リハビリテーション病院

和気逢相～来て! 見て! 踊って! 夏祭り!～

今年のテーマは「和気逢相～来て! 見て! 踊って! 夏祭り!～」。毎年恒例となっている和太鼓演奏での盆踊りや迫力満点!男前神輿、また、相撲甚句と今年初の落語も催されました。模擬店においても輪投げ・射のなどで楽しんで頂き、食べ物でも綿菓子・かき氷・ポップコーン・焼きそばなどを提供し味わって頂きました。たくさんの患者さまとご家族にご参加頂きスタッフも合わせて皆でまさに「和気逢相」とした納涼祭となりました。



船橋市立リハビリテーション病院

夏祭りを開催しました

毎年恒例となっている夏祭りを当院自慢の広いリハビリ室をメイン会場として開催しました。入院中の患者さまにも夏祭りに参加していただきたい、という思いから病院全体を挙げて開催しています。

かき氷、綿菓子、的当てや金魚すくい、ばか面踊りに加え、今回は当院所属の理学療法士による尺八の生演奏も行いました。貴重な機会に患者さま・ご家族だけでなく、当院スタッフも一緒に素敵な音色に聴き入っていました。



船橋市立リハビリテーションセンター

第20回 船橋市地域リハビリテーション研究大会 開催

9月19日(木) 船橋市中央公民館にて第20回船橋市地域リハビリテーション研究大会が開催されました。

講師に日本福祉大学名誉教授 二木 立氏をお招きし「地域包括ケア・地域医療構想とリハビリテーション医療」というテーマでご講演いただきました。179名の方が参加され、「新しい知識になった」「今後の業務に活かそう」との声が多数寄せられ、大盛況でした。



在宅総合ケアセンター元浅草

第22回 バリアフリータートルマラソン大会 in 足立

毎年10月に開催されるマラソン大会に、今年も当センターの利用者さまが多数参加される予定です。マラソン大会ではありませんが、出場する種目は「5km ウォーキング」。車いすの使用も可能で、当センターのスタッフが伴走者として付き添い、一緒に5km先のゴールを目指します。参加される皆さまは、この大会を目標に数ヶ月前からトレーニングを積み、リハビリを頑張ってきました。今年も全員が笑顔で完走できるようにスタッフも頑張ります!



在宅総合ケアセンター成城

第2回 区西南部地域リハ支援センター幹事会 開催

9月18日(水) 区西南部地域リハ支援センター世田谷幹事会が開催されました。区西南部地域リハ支援センター事業は、初台リハビリテーション病院が東京都から受託しており、当日は医師会や薬剤師会、近隣の医療機関からの専門職など16名の方にご参加いただきました。地域リハ関係者の連携強化や提供体制強化に向け、上期に開催された移乗研修会の報告があり、また、下期に向けた取り組みについても熱のこもった意見交換がされました。これからも世田谷区の地域リハ推進に向け全力で取り組んでまいります。



季刊情報誌「輝NET」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F <http://www.kiseikai-reha.com>

初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500 <http://www.hatsudai-reha.or.jp>
 船橋市立リハビリテーション病院 〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1 TEL.047-439-1200 <http://www.funabashi-reha.com>
 船橋市リハビリセンター 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-519-3 TEL.047-468-2001 <http://www.funabashi-rehacen.com>
 在宅総合ケアセンター元浅草 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-17 TEL.03-5828-8031 <http://www.motoasakusa-reha.com>
 在宅総合ケアセンター成城 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-8-7 TEL.03-5429-2292 <http://www.seijo-reha.com>

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。 contact@kiseikai-reha.com



2018年度 クリニカルインディケーター

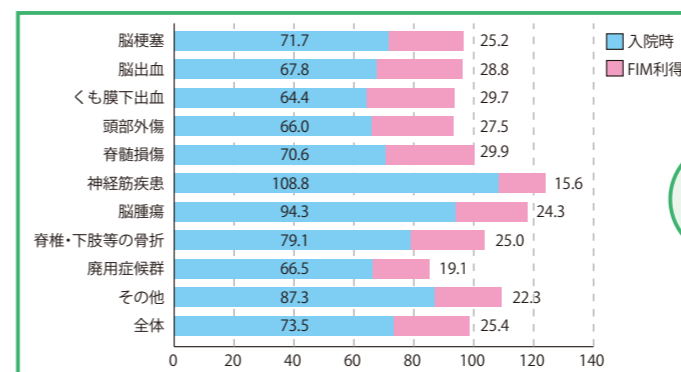
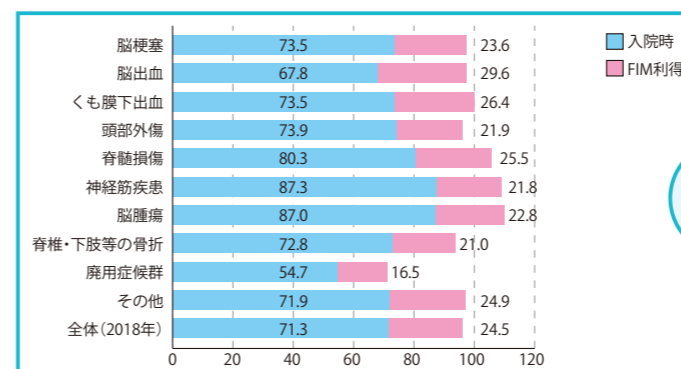
初台リハビリテーション病院と船橋市立リハビリテーション病院の「2018年度クリニカルインディケーター」をホームページに公開しました。以前、輝NET2018.10月号に「クリニカルインディケーター(臨床指標)について」を掲載しましたが、今回はクリニカルインディケーターの指標のうち以下の2つについて、2018年度の結果に基づきご説明いたします。

① ADLの改善(FIM利得)

FIMとは、日常生活の自立度を示した指標です。数字が高いほど自立していることとなります。入院時と退院時のFIMの差をFIM利得といい、数字の差が大きいほど改善されたこととなります。

$$\text{FIM 利得} = \text{退院時 FIM} - \text{入院時 FIM}$$

2018年度 FIM利得の結果は、平均で初台リハビリテーション病院は 24.5点、船橋市立リハビリテーション病院は 25.4点となりました。

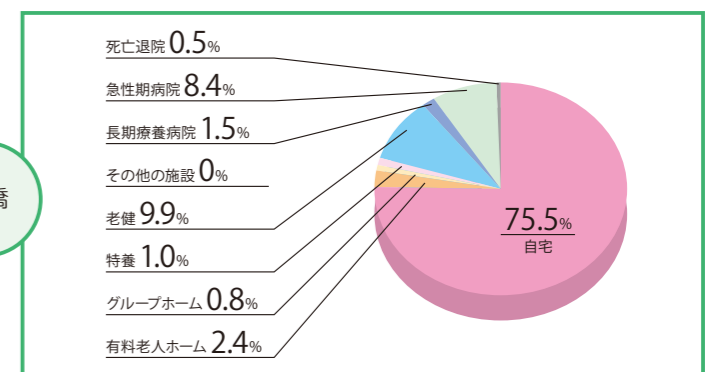
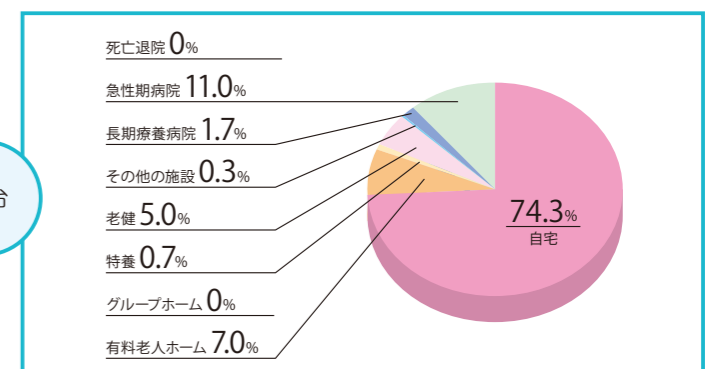


② 最終退院先(在宅復帰率)

入院した患者さまが、当院でリハビリテーションを受けられた後、退院された先を表したグラフになります。

回復期リハビリテーション病棟は、厚労省の基準において、退院先が自宅(有料老人ホームなども含む)の割合が7割以上と定められています。回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰は大事な使命となります。

$$\text{在宅復帰率} = \frac{\text{自宅(有料老人ホームなども含む)}}{\text{2018年度に退院された全患者}}$$



こうして可視化することにより、医療の質が改善され、向上されると期待しております。また、データを公開することで、患者さま、ご家族への信頼につながると考えています。詳しくはホームページを是非ご覧ください。

<https://www.kiseikai-reha.com/>

文責 / 針谷 ひろみ

- 輝生会の基本理念と方針
- 「人間の尊厳」の保持
 - 「主体性・自己決定権」の尊重
 - 「地域リハビリテーション」の推進
 - 「情報」の開示
 - 「ノーマライゼーション」の実現

- 輝生会における患者さまの権利
- 人権を尊重される権利
 - 最善の医療を受ける権利
 - 自らの意思で選択・決定する権利
 - プライバシーの保護を求める権利
 - 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利

各拠点の患者会の活動紹介

初台リハビリ友の会 (初台リハビリテーション病院)

主な活動内容

定例会

月1回 第3又は第4日曜日の午後を中心に、渋谷区内の施設を会場にして開催されています。会員の体験談の発表や、座談会、簡単な体操、合唱などを行います。定例会の様子は、初台リハ病院2階外来に報告書が掲示されています。



旅行

毎年秋に開催する1泊2日のバス旅行です。リフター付バスをチャーターするので、車いすの方でもご参加いただけます。



ランチの会

6月は「ランチ友の会」と称し、初台近くのレストランを貸切り、皆で美味しい食事をいただき、交流を深めています。

林友治会長からご挨拶



友の会の会員は、脳出血、脳梗塞による半身不随など、障害者の集まりです。多くは、突然の発病、入院加療の後、リハビリ病院へ転院し専門的なリハビリを受けます。リハビリは厳しくとも、回復、完全回復をめざし、懸命に励みます。もうすぐ退院となれば、患者家族もホッとし、喜びで家に戻った記憶があります。しかし、不自由な体は治っていない。しかも生涯にわたって関わっていかねばならないことに気が付くのです。後遺症の辛さは本人しか知りえないことかもしれません。しかし、自分だけでない、多くの患者仲間がいる。そんな声が友の会の第一歩だったようです。一歩が二歩となり、三歩となって、支え合い、励まし合っの今日だと思えます。月1回の定例会は162回を重ね、ランチ会、忘年会、旅行、機関誌「きらら」の発刊と継続した活動を続けてきました。家族の方と共に車いすで参加して下さる方がいることも、仲間としては大きな喜びに繋がります。障害を受け入れ、希望を失わず、一日一日を大切に生きていきましょう。ご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

初台リハビリ友の会は、「外に出よう!仲間を作ろう!」をスローガンに2006年3月30日に発足し、14年目を迎えました。2019年9月30日現在での会員数は89名。会員が、自分の出来ることを少しずつ手伝い、支え合いながら、様々な活動をしています。ランチの会や忘年会、旅行は入会されていない方でも参加いただけます。定例会も事前にご連絡頂ければ見学が可能です。出掛けるきっかけ、仲間づくりに、是非ご参加ください!

忘年会

12月は忘年会(兼クリスマス会)です。コーラスやビンゴなど楽しい催しも用意されています。



講演会

年1~2回、外部から講師の方をお招きして、講演会を開催しています。

機関誌「きらら」

年1回、会員の皆さんから、体験談・紀行文・クイズまで、いろんな原稿を集め、機関誌を発刊しています。どなたでも、1冊200円で購入可能です。バックナンバーは初台リハ病院2階外来待合に置いてありますので、是非手に取ってみてください。



問 お問い合わせは、初台リハ病院スタッフもしくは、友の会事務局(080-4661-3179)まで。

文責 / 地域包括ケア推進部 東 妙香

コンパスの会(船橋市立リハビリテーション病院)

コンパスの会の始まりは、有志のスタッフが企画した茶話会(外来・訪問の患者さまとご家族がご自身の体験を分かち合う場)でした。この茶話会に参加された方のうち、患者・家族会に興味をもってくださった3組の患者さまとご家族が、最初の立ち上げメンバーとなりました。その後、2017年2月に名称を「コンパスの会」とあらため、現在は概ね13名前後の世話人の皆さんが、主体的に会の企画・運営をされています。

コンパスの会の名称の由来

病院を中心とした円(縁)の中に多くの人が集まり、情報交換し、親睦を深めあう。コンパス(羅針盤)で、そこに集う仲間たちの生きがいとなる活動を目標にする。

2016年度から、茶話会だけでなく、落語家や音楽療法士の方をお招きした娯楽や、病院スタッフによる体操教室や講演会等を中心に企画をしてきました。2018年度には、初めてのお食事会、日帰りバス旅行、患者さまの創作品を展覧する文化祭、片麻痺の患者さまによるピアノの演奏会を開催することができました。また病院の夏祭りでは、会場にブースを設けて、PR活動も行なっています。

文責/SW部門チーフ 野口 陽介



たいとう心身会(在宅総合ケアセンター元浅草)

たいとう心身会では9月1日にイベントを行いました。「台東区で寝たきりゼロを目指そう! - 今皆さんでできること -」をテーマに掲げ、斉木センター長による講演と体力測定会を実施しました。

講演では、老年期症候群や寝たきり前段階であるロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニアという誰にでも起こりうる身体的変化の諸症状について説明がありました。さらに、これらを予防するための簡単な運動や台東区が提供しているサービスの紹介も行い、自分の身体に正しく向き合う事の重要性や周囲の方々の変化にも気を配る必要があるとの話がありました。

体力測定では、患者さまには歩行・バランス・筋力テスト、ご家族にはロコモチェックを実施しました。ご家族の方から寝たきり前段階の3つの内容に関する質問が挙がったり、「なかなか体力テストをすることがなかったので貴重な体験でした」との声も聞かれたりと、多くの反響がありました。またご参加いただいた方同士で会話をされている方も多く、賑わいを見せていました。次回の開催を期待する声も聞かれており、今回のような講演会やバスツアーも今後検討しております。

文責 / 理学療法士 若菜 由美子



初台



喫茶きららでは、毎週土曜日14時からコンサートを開催しており、毎回多くの患者さま、ご家族にお楽しみいただいております。おすすめメニューは「りんごのタルト」「クリームあんみつ」です。コンサートの演奏を聴きながら、ゆったりとした時間の中でコーヒーとデザートはいかがでしょう。10月から、新しい食事・デザートメニューを提供いたします。

皆さまのご来店を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

(店長 石川)

喫茶きららのご紹介

船橋



「きらら」は大きな窓に面しており、その窓から見える景色は季節の移ろいを感じさせてくれます。特に桜のシーズンは窓一面が桜で埋めつくされます。天候に左右されないためお花見のベストスポットになります。この季節は「クリームあんみつ」の人气がより一層高まります。10月中旬からは好評の「シチューフェア」を実施いたします。皆さまの憩いの場として「きらら」をご利用いただけますよう、スタッフ一同笑顔でお迎えいたします。

(店長 木下)